第1章 労働組合の基礎知識

はじめに

労組役員・リーダーには４つの使命があります。

１つは、貢献です。組合活動を価値あるものにするために貢献するという使命があります（have a share in the union）。労組役員・リーダーは労働組合の組織に貢献しなければならないということです。２つは、組合員のために行動するという使命があります（administer）。労組役員・リーダーは組合員にとって役立つ存在でなければならないということです。３つは、労使対等を実現し、健全な労使関係を構築するという使命があります（contribute）。４つは、人間的な成長を後押しするという使命があります（growth）。労組役員・リーダーは、組合員の成長が自己の成長であるという自覚をもって活動しなければならないということです。

1. なぜフード連合が存在するのでしょうか

風が吹けば桶屋が儲かるという例えがあります。ある事象の発生が表面的には全く関係のないことが起こるという例えです。風が吹けば桶屋が儲かる、この因果関係を手順にすると７つになると言われています。

①大風で土埃が立つと
②土埃が目に入り盲人が増える。
③多くの盲人は三味線弾きをしていたので三味線を買う。
④三味線は猫の皮が使われる。猫皮を手に入れるためネコが殺される。
⑤ネコが減るからネズミが増える。
⑥ネズミは桶を囓る。
⑦桶の需要が増え桶屋が儲かることになる。

因果関係を無理矢理つなげてできた、いささかこじつけの言いぐさと言えなくもないのですが、あながち現在の世界経済と無縁とはいえないかもしれません。経済のグローバル化によって進行している現象があります。先進国における中間層の貧困化およびインフレです。中間層の貧困化およびインフレの同時進行を意味するスクリューフレーションという用語が造語されたほど深刻化しつつある現象なのです。

「風が吹けば桶屋が儲かる」をまねてスクリューフレーションを手順化すると次のようになるのではないでしょうか。

スクリューフレーション

①先進国から新興国に雇用が移る。
②先進国では雇用が減少、所得が低下する。
③新興国では雇用機会が増大し、生活水準が上昇する。
④新興国では食料や燃料など資源の需要が高まる。
⑤新興国の都市化が激しくなる。
⑥国際的な価格高騰が起き、生活必需品の価格が上昇する。

また、アジアにおける経済連携や海洋安全保障をめぐる地域協力を推進する時代になりつつあります。国際政治の流れは欧米からアジアへのシフト化が進んでいます。

労働組合としてもこれまでの世界観あるいは労使関係観の修正が迫られていますが、その中核の１つが市場経済の共有化です。

しかしながら、労働組合として変えてはいけない３つの価値観があります。１つは、民主主義です。２つは、法の下の公平あるいは法による支配です。３つは、人権の擁護です。この３つの価値観によって、労使関係を維持していく必要があります。

労働組合の活動として変えてはいけないものはなんといっても雇用の創設であり、雇用の確保です。フード連合（産別）は、連合の中核として、雇用の創設と雇用の確保を活動の中核に位置づけつつ、リベラルで秩序ある労使関係をリードしてきました。産別はどのような価値観を基盤としてどのように活動を展開していくのでしょうか。産別の責務のうち、最も重要なものは２つです。１つは、食料そしてエネルギーの自給率を上

げることです。２つは、国内の雇用機会を増加させることです。

2. 労働組合がなぜ必要なのでしょうか

働く者の中には、賃金さえもらえば、余計なことはしたくないという意見をもっている者もいるかもしれませんが、一人ひとりがバラバラではできないことを、みんなの力を合わせることによって相乗効果を発揮することができます。経営者の経営の仕方が悪くて人員整理や解雇されたのに泣き寝入りというのではたまったものではありません。賃金が少ない、職場の環境が悪い、一人では解決できないことも労働組合の組織を通して会社と交渉して改善していくことができます。労働組合は、労働条件の改善を通して労働者の幸福を追求する、法律で保障された働く者同士が団結した組織です。親睦会あるいは社員会などとは異なります。労働組合は働くものにとってなくてはならないものです。

労働組合の役割のうち最も大きなものの１つが働く者の雇用を守ることです。好況の時は大量に雇い入れ、景気が悪くなると人員整理というのでは働く者は困ってしまいます。一人ひとりではできないことを団結の力によって実現し、働く者の雇用と生活を守ること、これが、労働組合のもっとも大切な役割です。

労働組合は働く者が自主的に団結して、自主的に運営する団体です。労働組合は労働者自身が組織化し、運営するものです。経営者や政治家の干渉は排除しなければなりません。労働